

## 《構内・バック事故の根絶》 見る・待つ・止まる 構内における 三原則

- **いつもの場所でも、周囲の状況はいつもと違うかも？**  
○ **慣れた場所であっても、周囲の状況を必ず目視確認！**  
いつもは何もない場所に…  
たまたま、今日は荷物が置いてあったり、車が止まっているかも知れない
- **バックで進入する場所は、事前に自分の目によく見る！**  
○ **不可能な場所を除き、目視で確認していない場所へ、バック進入しない！**  
トラックの真後ろは見えません  
進む先に、ぶつかる物がないのか、事前に視ておく必要があります
- **作業終了後、運転席に乗り込む前に、自車の状況を確認する！**  
ユニック・ダンプ・ウイングなど…  
格納を忘れたまま発進し、電線やシャッターへの衝突事故が多い  
車の姿を見てから、運転席に乗り込む  
発進する前に、ミラーを確認(アンダーミラーも)、自車の周囲の確認を！

★ **構内での事故は、高額賠償の可能性！ あせらずしっかり確認する！**  
**漫然運転、居眠りに注意しましょう 2時間走行15分休憩！**

## 《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

### 夜6時 信号交差点

## 右折の大型トレーラーと対向から直進の軽乗用車が衝突

軽乗用車の男性、搬送先で死亡 双方、青信号の可能性

- ◇ 交差点の右折は…十分に余裕を持って、直進車・歩行者に注意しましょう◇
- ◇ 交差点 直進時は…右折車が「来るかもしれない」…注意しましょう◇
- ◇ 黄色信号で交差点進入は、命取りになります 黄色信号は「止まれ」◇

2026/5/24(日) 8:44

22日午後5時55分ごろ、埼玉県の国道の信号交差点で、右折の会社員男性(61)の大型トレーラーと、対向から直進の会社員男性(63)の軽自動車とが衝突し、軽自動車の男性は搬送先の病院で死亡が確認されました。大型トレーラーが右折した際、対向から直進中の軽自動車と衝突しました。双方青信号だった可能性が高いという。大型トレーラーの男性が119番した。同署は自動車運転処罰法違反(過失致死)の疑いで調べている。

## トレーラーが歩道に乗り上げ、1人軽傷 車道と歩道の境の柵を約10メートルなぎ倒す

トレーラーは自走できない状態

- ◇ わき見は厳禁、100%運転に集中しましょう◇
- ◇ 「ぼーっと運転」、漫然運転は、死亡事故リスクが高い！◇
- ◇ ながら(スマホ)運転、ナビを見ながら運転、わき見運転、重大事故◇

2026/5/23(土) 14:54

23日正午ごろ、大阪府でトレーラーが、歩道に乗り上げました。警察によりますと、運転手にけがはありませんでしたが、1人が病院に搬送され軽傷だということです。トレーラーは車道と歩道の境に設置されている金属製の柵を約10メートルにわたりなぎ倒して、自走できない状態だということです。警察が事故の原因について、運転手から事情を聞いています。

## トラクターの下敷き 男性が大ケガ

- ◇ 重機・農機・トラクター・リフトの操作は、慣れてきた時ほど慎重に！◇
- ◇ 重機・農機・トラクター・リフトの積み降し時は、登坂板の位置、地面の水平を確認しましょう◇
- ◇ 登坂板から外さないように注意しましょう◇

2026/5/23(土) 16:16

23日午前9時10分ごろ、山形県の町道で、農業の男性(72)がトラクターの右前輪の下敷きになっているのを近所の人が発見し、119番通報しました。男性は病院に搬送され、右鎖骨と肋骨を折る大ケガをしました。